

VivaFix™ Cell Viability Assays

バイオ・ラッドのVivaFix cell Viability Assays(細胞生存率)は、フローサイトメトリー及び顕微鏡下で哺乳類動物細胞の生存率を高感度に測定します

VivaFix Cell Viability Assayの利点

- 死細胞と生細胞集団の最適分離を実現。
- 細胞固定での測定にも対応。
- 色素の選択の難しいマルチカラー実験にも対応できる8つの異なる励起/蛍光波長の組み合わせ。

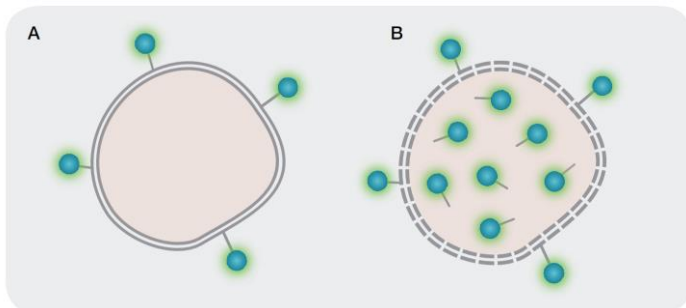
より詳細についてはWebページをご参照ください。
www.bio-rad.com/vivafix

BIO-RAD

サンプルの細胞生存率を正確に測定

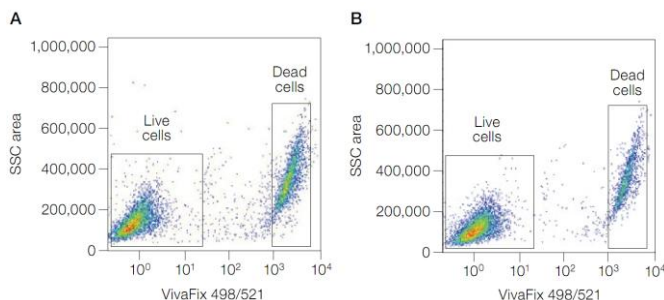
独自のアミン反応性色素配列を利用して、VivaFix細胞生存率アッセイは簡単に、生細胞と死細胞を分離します。2群集間の蛍光強度の少なくとも100倍の差を設けることで、研究者を支援することができます。また、VivaFix色素の明るさは、固定液で処理しても維持され、定着後の細胞生存率を追跡するためにバイオハザード試料と共に使用することができます。

VivaFixアッセイは、幅広い範囲の励起/蛍光スペクトル製品があり、容易に任意の多色実験に組み合わせることができます。実験のために最も適切な励起/蛍光波長を選択するために、8種類のアッセイのいずれかを選択することができます。



VivaFix Cell Viability Assaysの原理

A: VivaFix色素は生細胞表面に一次アミンに結合する; B: 細胞膜が損なわれた死細胞では、VivaFix色素は細胞内に浸透することができ、また、細胞質内の一級アミンと反応する。その結果、死細胞ではより多くの蛍光を発するため、生細胞と死細胞との間で蛍光強度の少なくとも100倍の差が生じ、2つの集団を容易に識別が可能となります。



生細胞と死細胞の間での優れた分離能。

Jurkat細胞を固定し、VivaFix498/521色素を用いて染色した。(A)3.7%ホルムアルデヒドで固定した。(B)未固定サンプル。S3™セルソーターで分析した。SSCは側方散乱光。

Ordering Information

カタログ番号	品名	励起波長 (nm)	蛍光波長 (nm)	最適励起レーザー (nm)	価格
135-1111	VivaFix 353/442 Cell Viability Assay(200回分)	353	442	355	¥25,000
135-1112	VivaFix 410/450 Cell Viability Assay(200回分)	410	450	405	¥25,000
135-1113	VivaFix 408/512 Cell Viability Assay(200回分)	408	512	405	¥25,000
135-1114	VivaFix 398/550 Cell Viability Assay(200回分)	398	550	405	¥25,000
135-1115	VivaFix 498/521 Cell Viability Assay(200回分)	498	521	488	¥25,000
135-1116	VivaFix 547/573 Cell Viability Assay(200回分)	547	573	561	¥25,000
135-1117	VivaFix 583/603 Cell Viability Assay(200回分)	583	603	561	¥25,000
135-1118	VivaFix 649/660 Cell Viability Assay(200回分)	649	660	640	¥25,000

BIO-RAD バイオ・ラッド ラボラトリーズ 株式会社
ライフサイエンス事業部

Visit us at <http://discover.bio-rad.co.jp>

本 社	〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セゾビル7F	TEL:03-6361-7000	FAX:03-5463-8480
大阪営業所	〒532-0025 大阪市淀川区新北野1-14-11 第一生命ビル	TEL:06-6308-6568	FAX:06-6308-3064
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2-5-28	TEL:092-475-4856	FAX:092-475-4858
	*学術的お問い合わせは	TEL:03-6404-0331	FAX:03-6404-0334

取扱店